

(別添)

令和6年度国際救援・開発協力事業派遣要員  
再募集・追加募集要項④  
(令和6年7月2日付国企第122号通知添付)

## 1 共通事項

### (1) 応募要件 (共通)

原則として以下の要件を満たしていることを前提とする。

- ア 国際救援・開発協力要員基礎研修会 (BTC) 又は国際救援・開発協力要員研修Ⅱ (IMPACT) を修了 (または派遣前までに修了を予定) していること。
- イ 危機管理研修Ⅱまたは安全管理研修Ⅱを修了 (または派遣前までに修了を予定) していること。
- ウ 英語での協議、報告書等の作成及びその他業務の遂行が可能であること。
- エ 派遣に際し、差し障り無い健康状態であること。

### (2) その他

- ア 派遣期間の前後には、必要に応じて引継期間等が加えられること。
- イ 現地情勢及び事業進捗等により、派遣募集自体の取り下げ及び派遣期間等が変更となる可能性が随時あること。
- ウ 派遣先での職務詳細等につき質問がある場合は、国際部企画課派遣係 (kokusai-hr@jrc.or.jp) まで個別に照会すること。

## 2 募集事業

### (1) インドネシア防災強化学業：事業/事務管理要員 (1名)

「インドネシア防災強化学業」は、災害多発国であるインドネシアにおいて、令和2年9月～令和5年12月までの期間、地域の災害リスク軽減に寄与することを目的に、学校及び村落ベースで災害に対するコミュニティのレジリエンスを強化する取り組みを実施してきた。現行事業は令和6年6月までに最終評価等の各種報告書を取り纏め終了するとともに、令和6年7月ないし8月より次期事業を開始する予定である。派遣される要員は、日赤の知見を活かして地域防災と学校防災の両面から、地震や津波からの早期避難の仕組みづくり等、災害への備えを強化する取り組みの立ち上げにあたる。次期事業地は未定。なお、現在、現地代表部にはインドネシア人スタッフ2名が在籍しており、首席代表 (= 開発協力課長・在本社) の監理の下、事業管理に当たっている。

(参考リンクはこちら：[インドネシア防災強化学業](#))

(ア) 派遣期間

令和6年9月～令和7年3月

※期間については応相談だが、3ヶ月間程度の派遣を想定していること。

(イ) 主な職務

- 現地代表部が行う事業管理業務補佐（連盟/姉妹社/本社等との連絡調整及び報告、各種情報収集及び整理、広報（写真・動画撮影/文書編集）等含む）
- 現地代表部が行う事務管理業務補佐（前渡金管理、出張者/訪問者受入を含めたロジ管理、調達管理、会議運営、報告書作成等）
- 派遣国内における日赤既存事業の発展（新規事業策定含む）の可能性の検討及び検証
- その他、現地代表部が指定する業務（会議出席及び出席報告作成等）

※応募者の経験等に応じ、職務内容を見直す場合があること。

※派遣期間を通じて、日赤/現地代表部を代表して業務にあたる機会も付与される場合があること。

(ウ) 応募要件

- 海外派遣経験は問わないこと。（過去に海外派遣経験がある者の応募も可能であること。）
- 総合職、医療職を問わないこと。（事業管理業務に従事する意思がある医療職の応募も可能であること。）
- 現地で経験する業務が未経験の内容であっても、自主的な学びを通じ、積極的に取り組む姿勢を持つ者であること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましいこと。

(エ) 応募書類

応募者は以下3点の書類を提出すること。

① 「応募様式」

派遣の時期は応募状況等により調整する可能性があることから、幅広く派遣可能期間を記載すること。

② 「英文 CV」（別添フォーマット）

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、英文 CV は事業関係者に共有する場合があること。

③ 「本派遣に期待すること」（別添フォーマット）

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、「本派遣に期待すること」は事業関係者に共有する場合があること。

## (2) バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業：調査要員（1名）

日赤は、2018年5月よりバングラデシュ赤新月社（以下「バ赤」という。）とミャンマー・ラカイン州からの避難民に対し、保健医療支援を実施してきた。令和6年度は同事業第二期最終年度にあたるため、下記の通り地域保健調査を実施する。本地域保健調査は①調査協力（リモート派遣）、②現地調査（現地への派遣）から構成される。①及び②の全期間への参加が望ましいが、期間は所属施設と相談のうえ調整する予定。

なお、本調査の目的は以下の4点である。

- 避難民の健康に関する「知識（Knowledge）」、「態度（Attitude）」、「実践行動（Practice）」について、量的及び質的な情報を収集し、対象地域の人々について把握すること。
- 収集した情報、分析結果を定量的根拠データとして事業評価に活用するとともに、日赤のバングラデシュでの第三期以降の計画立案に役立てること。
- バ赤や連盟に結果を共有し、日赤が支援するバ赤のCBHFA活動の意義や効果について認識を高め、今後のCBHFA活動全体の計画・方針に役立てもらうこと。
- 客観的に避難民の健康状況を示し、日赤の活動の意義や効果について日本の支援者へ説明責任を果たすこと。

### (ア) 派遣期間

#### <①調査協力（リモート派遣）>

令和6年8月～令和6年12月（「②現地調査」の前後）

※本調査にかかる本社業務をリモートにて実施する。

※1時間～2時間×3日程度/週（＝月4日相当）を想定。原則、週1回のオンライン会議を予定。

#### <②現地調査（現地への派遣）>

令和6年9月～令和6年10月（3～4週間程度）

※現地での調査実施に2～3週間程度、国内でのデータ収集・整理に1週間程度、携わる予定。（現地調査計画の詳細の策定は、「①調査協力」の期間に行う。）

### (イ) 主な職務

本調査をリードする調査要員（1名）をサポートする役割として、主に以下の業務を予定しているが、詳細は本人と協議のうえ決定する。

<①調査協力（リモート派遣）>

【事前準備】

- バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業の概要把握
- バングラデシュとミャンマーの基礎情報、健康保健指標についての把握
- ミャンマー・ラカイン州からの避難民のキャンプの基礎情報、疾病の動向、保健医療の現状についての把握
- 過去の保健医療支援事業の報告書等を読み、関連資料の調査を実施
- 調査手法・分析方法の検討及び現地調査計画の策定
- 現地要員とともに、質問表の作成及び調整、必要書類・物品の準備、現地調査協力者（ボランティア、インタビュワー、フォーカス・グループ・ディスカッション参加者）の選定の実施

【現地調査後】

- 統計ソフト等を活用したデータ解析、調査結果の分析
- 分析結果に基づいた地域保健調査報告書の作成
- 日赤本社へ派遣の成果（地域保健調査報告書を含む）の報告
- 日赤現地代表部首席代表と協議のうえ、現地関係者（バ赤・連盟ヘルスマネジメント部門）へのフィードバック
- 所属先施設内外で報告会を開催等の広報活動

<②現地調査（調査実施）>

- バ赤や連盟との協力のうえ、調査実施及びデータ収集／整理の実施
- 現地における調査協力者のトレーニングやデータ収集状況のモニタリング等のサポート
- 報告書や広報に活用のための情報や写真、データの収集
- 日赤現地代表部首席代表と振り返りの実施、調査実施後の概要を現地関係者（バ赤・連盟ヘルスマネジメント部門）及び日赤関係者への共有

(ウ) 応募要件

- コミュニティ・ヘルス関連研修を修了していることが望ましい。
- 海外派遣経験は問わないこと。
- 未経験の業務内容であっても、自主的な学びを通じ、積極的に取り組む姿勢を持つ者であること。
- 今後、日赤の保健医療支援事業への参画を通じて、人々の健康の向上に貢献していく意思があること。

(エ) 応募書類

応募者は以下 3 点の書類を提出すること。

① 「応募様式」

派遣の時期は応募状況等により調整する可能性があることから、幅広に派遣可能期間を記載すること。

② 「英文 CV」 (別添フォーマット)

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、英文 CV は事業関係者に共有する場合があること。

③ 「志望理由書」 (別添フォーマット・400 字程度)

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、「志望理由書」は事業関係者に共有する場合があること。